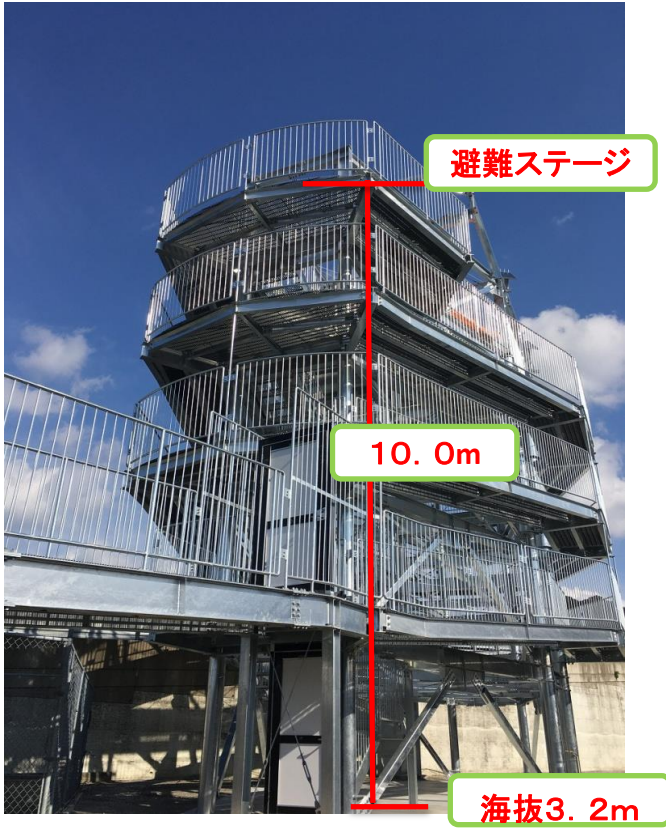


平松津波避難タワー



建設内容

所在地	すさみ町周参見2300-1
構造	鉄骨構造
高さ	約10m
面積	約50㎡
収容人数	約100人
事業費	87,989千円
完成日	平成29年3月31日

・津波避難タワーとは

津波による被害が想定される地域の中でも、地震発生から津波到達までの時間的猶予や条件等の理由により、近くの安全な高台等への避難が困難と想定される地域において、緊急的に一時避難をする場所として活用する施設です。

・建設までの経緯

平成23年3月	東日本大震災	
平成24年8月	内閣府が南海トラフ巨大地震による津波想定を公表	
すさみ町	最大津波高	20m
	最短到着時間	津波高1m 4分
		津波高3m 5分
平成25年3月	和歌山県が南海トラフ巨大地震による津波想定を公表	
すさみ町	最大津波高	19m
	最短到着時間	津波高1m 3分
		津波高3m 4分
	平均浸水深	5.6m

平成27年8月	駅前津波避難タワー完成	高さ約10m	収容人数200人
	駅前地点	※基準水位	7.0m
		最短到着時間	津波高1m 10分
平成28年9月	すさみ町避難ビル完成	高さ約11m	収容人数300人
	ビル地点	※基準水位	4.7m
		最短到着時間	津波高1m 23分
平成29年3月	平松津波避難タワー完成	高さ約10m	収容人数100人
	平松地点	※基準水位	5.9m
		最短到着時間	津波高1m 10分



避難タワー屋上は、津波が来た際の避難スペースになっており、最大100人が避難することができます。

地上から約10mに位置しており、南海トラフ巨大地震で想定される、この場所の※基準水位である5.9mよりも高くなっています。

進入路は3ヶ所設置しており、通常時は扉を施錠していますが、非常時には扉のパネル（珪酸カルシウム板）を破ってカギを開けて進入して下さい。



※基準水位とは、津波が建物などにあたって跳ね上がった時の最高の高さです。